

変革・創造・実践

MONTHLY ZEN-NOH GUNMA

県本部通信

2013
November

No. 140

11



JA全農ぐんま



私たち全農グループは、生産者と消費者を
安心して結ぶ懸け橋になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

事業のうごき 11

営農総合支援センター

- 野菜の生産拡大のための取り組み支援
- J A 営農経済渉外活動の導入・実践にともなう総合的な支援
- 担い手支援のための取り組み
- 食の安全・安心対策への取り組み

畜産農産部

酪農畜産課

- 生乳の計画生産の推進
- 初妊牛導入推進
- 素牛導入推進
- 種豚導入推進
- 渋川家畜市場若齢子牛の集荷推進
(優良 E T 卵産子の活用促進)

米麦特産課

- 平成25年産米穀集荷推進
- こんにゃく生玉販売推進
平成25年10月21日～12月16日
- こんにゃく製品セット冬期特別推進
平成25年11月1日～12月末日
- 菌茸類種駒・種菌予約推進
- 春期桑苗予約推進

園芸部

園芸販売課

- 共計雨除けほうれん草販売 (周年)
- 県統一規格共計きゅうり抑制販売 (12月末日迄)
- 共計チンゲンサイ販売 (周年)
- 共計味にら販売 (周年)
- 共計干し大根販売 (12月中旬迄)
- 共計下仁田ねぎ販売 (1月末日迄)
- 共計上州ねぎ販売 (2月末日迄)
- 共計白ねぎ販売 (3月末日迄)
- 共計春菊販売 (3月上旬迄)

販売促進課

- 秋冬野菜販売促進
- もやし類・加工野菜販売促進
- 花き販売促進

園芸資材課

- 冬春用出荷資材予約推進
(ほうれん草・山うど・アスパラ他)
- 平成26年産青果物段ボール予約注文取りまとめ

- 温床資材予約推進 (農ポリ・マルチ・トンネル資材・カーテン資材・こんにゃくマルチ他)
- 冬春用野菜種子推進 (ほうれん草・ねぎ・きゅうり)
- 種馬铃薯納品 (11月中旬～)

生産資材部

花木流通センター

- 売出し・フェアの実施
☆花木流通センター
11月1日(金)～4日(月) 大植木祭り(セール期間)
11月2日(土)～3日(日) 植木まつり
11月22日(金)～25日(月) 秋のお客様感謝セール
11月23日(土) 午前市
☆愛菜館
11月8日(金)、18日(月)、28日(木)
8の日お米特売
11月23日(土) 午前市

肥料農業課

- 麦肥料推進
- セルフブレンド推進
- 麦作除草剤推進

生活部

生活課

- 太陽光発電推進 (周年)
- 生花利用拡大運動推進 (周年)
- 「上州もみ切りうどん」
・「四季のめん詰合せ」推進 (10月～12月)
- こだわりみかん推進 (11月～12月)
- JA高崎ハムお歳暮ギフトの推進 (11月～12月)
- 仕込み味噌推進 (25/10月～26/3月)

施設住宅課

- 賃貸アパート・個人住宅推進 (周年)
- カクイチ物置・広スペースハウス推進 (周年)
- 住友不動産「新築そっくりさん」推進 (周年)

自動車燃料部

ガス課

- 平成25年度ガス器具特別推進
- ふれあい訪問活動推進
- 第2回クミアイガス器具特別推進



平成25年産米の集荷・販売対策並びに
麦生産流通対策会議
(10.2 JAビル)

■生産振興に向け対策を協議

10月2日(水)、米麦特産課は「平成25年産米の集荷・販売対策並びに麦生産流通対策会議」を開催し、各JAの担当者等が出席しました。会場では、平成25年産米について、商系業者の動きや市場価格動向を把握し、「買取方式」を活用した中で、集荷増・有利販売に繋げるための話し合いや、平成25年産民間流通麦に関する情勢報告等の説明が行われました。



平成25年度こんにゃく作況調査
(10.9～11 県内圃場)

■特産こんにゃくの収量を予測

こんにゃくの生産量の的確な把握により、価格の安定を図り地域特産のこんにゃくの振興に資することを目的とした「平成25年度こんにゃく作柄調査」が群馬県蒟蒻生産協会主催で行われました。今回の調査では、10月9日(水)から11日(金)の間で県内圃場60箇所を掘取しました。畝幅、掘取長、健全・腐敗球数、重量等を調査し、それに基づく10a当たりの収量を算出することで今年の収量予測を行いました。



群馬県産きのこの試食・即売会
(10.11 東京都文化放送)

■県外に向けて情報を発信

園芸販売課に事務局を置く群馬県きのこ振興協議会は、10月11日(金)、ラジオ局の文化放送において「群馬県産きのこの試食・即売会」を行いました。この催しは、消費者との交流を図り県産きのこのPRと消費拡大を目的としており、来場者にはきのこ汁がふるまわれました。また、協議会を代表して富田会長と大沢さんがラジオへの生出演や取材に応じ、県産きのこの魅力と美味しさをPRしました。



JA-SS夏のビッグキャンペーン抽選会
(10.15 JAビル)

■豪華賞品当選者が決定

10月15日(火)、日頃からJA-SSをご利用くださっているお客様に感謝の気持ちを込めて、旅行券や上州麦豚等の豪華商品が当たる「夏のビッグキャンペーン」の抽選会が、須藤本部長、境野副本部長ら関係者により行われました。このキャンペーンは、7月から9月までの3ヶ月間実施され、応募総数54,120枚の中から当選者が決定しました。たくさんのご応募ありがとうございました。



第12回きのご栽培技術研修会
(10.22 JAビル)



たまねぎ栽培講習会
(10.26・27 花木流通センター)

■栽培技術向上に向けて

10月22日(火)、群馬県きのご振興協議会主催による研修会が開催され、会員である組合員やJAの担当者など約100名が参加しました。当日は、群馬県林業試験場の坂田氏と群馬県林業振興課きのご普及室の鈴木氏を講師に迎え、放射性物質に関する講義が行われました。また、会場内の展示ブースでは菌種メーカーを中心に9つの展示ブースが設けられ、製品の説明を熱心に聞く参加者の姿が見られました。

■丁寧な指導が人気

花木流通センターでは、消費者を対象とした様々な講習会を開催しています。10月26日(土)・27日(日)には、生産者の加藤氏を講師に迎え「たまねぎ栽培講習会」を行いました。通常ならば、収穫体験農園で実演も行いますが、今回は台風の影響で屋内での講義のみとなりました。それでも毎年人気の講習会とあって、初心者から経験者まで幅広い層の参加者が集まり、メモを取りながら熱心に受講していました。



太陽光発電土地有効活用セミナー
(10.26 JAたかさき)



JAあがつま太陽光発電システム運転開始
(10.31～ JAあがつま西部農産資材センター)

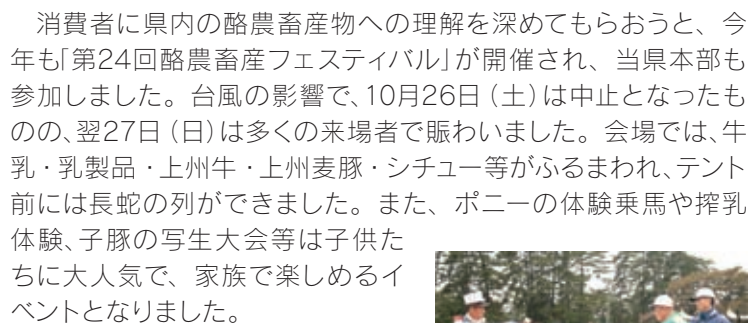
■エコな暮らしを提案

10月26日(土)、JAたかさきは組合員を対象とした「太陽光発電土地有効活用セミナー」を開催し、当県本部も参加しました。当日は、シャープエネルギーソリューション(株)の中井氏と(株)サンワの上原氏を講師に迎え、遊休地を活用した太陽光発電システムの概要や導入のメリット等についての説明が行われました。当県本部はJAと協力し、今後も太陽光等による再生可能エネルギーの普及に積極的に取り組んでいきます。

■再生可能エネルギーで農業の活性化を図る

JAあがつまでは、当県本部が推進・提供している農業関連施設等を利用する太陽光発電システムを西部農産資材センターの屋根に設置し、10月31日(木)より発電を開始しました。最大発電出力が100kw以上の施設は県内初であり、地球の環境保全に取り組むと共に、エネルギー買取制度を活用して経営安定を図ることで、組合員への還元や一層の推進・PR効果が期待されています。

10.26・27 第24回酪農畜産フェスティバル 畜産試験場・馬事公苑



なお、コンテスト会場にて行われた「第17回群馬県畜産共進会」は両日共に開催し、和牛の部・乳牛の部共に多くの生産者が参加しました。

10.29 畜産経営に関する意見交換 東京都 農林水産省

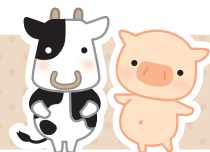
長岡会長は、「TPP問題や飼料価格の高止まり、畜産物の価格低迷等、未だ多くの課題を抱えている。」と畜産経営の窮状を説明しました。また、当県本部の境野副本部長による要請に続き、酪農・肥育牛・繁殖和牛・養豚・養鶏それぞれの生産者組織の代表者による個別の要請も行われ、疾病対策や担い手支援、原発事故に係る損害賠償請求支援等の強化を求めました。



群馬県内のJA-SSでは、11月1日(金)から12月31日(火)までの期間、「JA-SS冬のビッグキャンペーン」を開催しています。店頭にてガソリン・軽油・灯油を3,000円分ご購入の方を対象に、抽選で豪華賞品をプレゼントいたします。商品は、A賞(選べる鍋グルメ券)・B賞(上州黒豚コースステーキ用)・C賞(JA高崎ハム詰め合わせセット)から選べ、各賞に外れたお客様にもダブルチャンスとして抽選でキッチンセットをプレゼントいたします。応募方法等詳しくは店頭備え付けの応募用紙またはキャンペーン参加のJA-SSまでお問合せください。たくさんのご応募お待ちしております！



『収穫感謝祭2013』今年也大盛況!



10月5日(土)・6日(日)、J Aビル南駐車場において『収穫感謝祭2013 ～ぐんまの農業応援団大集合!～』が開催されました。この催しは、豊かな実りへの感謝と生産者と消費者の交流、そして群馬県農業の重要性や農業・農村の果たす多様な役割を考える機会として毎年開催されており、今年は約55,000人が来場しました。

開会式典で挨拶に立った長岡会長は、「群馬県は全国有数の農業県である。今後も、JAグループ

体となって安全・安心・新鮮な農畜産物の提供に努めていきたい。」と述べ、式典後には農業功労者表彰・群馬県農業賞表彰式が執り行われました。

会場では、恒例の嬬恋高原キャベツの抱え取りや、上州牛・上州麦豚・きのこのバター炒め・「さとのそら」を使用した焼きそば・「ゴロピカリ」の焼きおにぎり等の無料配布、県産農畜産物の試食・販売、生活関連商品やエコカーの展示、ステージイベント等が行われ、多くの家族連れで賑わいました。



▲ 開会式典でのテープカット



▲ 今年も盛り上がったキャベツの抱え取り



▲ 上州牛を求めて長蛇の列



▲ 香ばしい焼きおにぎり



▲ こんにゃくゼリーの抽選会は子供たちに大人気



▲ 立派なきのこが勢揃い



▲ 生活に役立つ商品を紹介



▲ 電気自動車の展示



▲ ザスバ草津の選手らによる野菜大抽選会

みどりの風 放映予定

GTV 48ch 放映のお知らせ

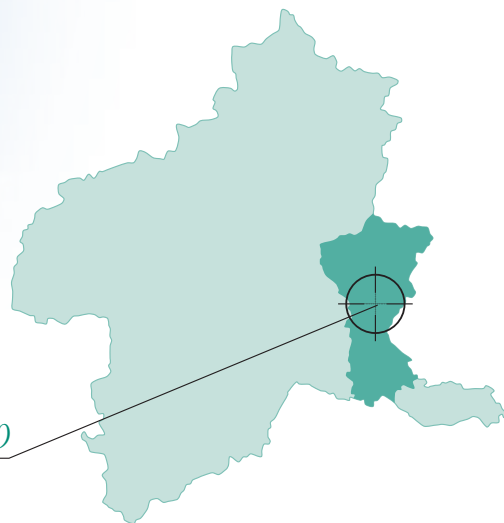
番組名/提供	放送日 ※再放送日	時間
季節到来! 下仁田ねぎとこんにゃく/ JA甘楽富岡	※12月1日(日)	AM 8:00~8:30
冬を楽しむ花木流通センター	12月2日(月)	PM 9:00~9:30
/ JA全農ぐんま 花木流通センター	※12月8日(日)	AM 8:00~8:30



三隅 有里子アナ

農業 チャレンジャー

JAにっただみどり



探究心と向上心持ち続けたい

JAにっただみどり管内 高橋 英樹 さん



高橋 英樹(たかはしひでき)さん

1975年生まれ、38歳。

栽培面積：

きゅうり(エコノミーハウス)/30a

きゅうり(パイプハウス)/20a

米/2.5ha

麦/8ha

そば/5ha

趣味：釣り

様々な経験を経て農業の道へ

今回のチャレンジャーは、家族と共に農業を営む高橋さんです。就農当初のことを伺うと、「農家の長男として両親の後を継ぐことは決めていましたが、社会経験も必要と思い、32歳までは会社員として小売店に勤務していました。店長という責任ある業務でしたが、とても良い経験になりました。全く違う環境にいたことで、新鮮な気持ちで農業に取り組むことができましたね。」と話してくれました。今年で就農6年目。現在は、家族と共にきゅうり・米・麦・そばの栽培を行い、高橋さんは主にきゅうりを担当しているそうです。

試行錯誤の日々に 面白さを感じる

就農前から両親の手伝いをしていたとはいえ、本格的にきゅうりの栽培を行うことは初めてだった高橋さん。「初めは父親から基礎を学び、それから他の農家に視察に行ったり、本を読んだり、独学で勉強しました。試したことが成功すればもちろん嬉しいですが、当時は失敗することにも面白さを感じていましたね。

今でも、40歳までは農業を学ぶ期間と考えています。」と話してくれました。日々の作業においても、勘に頼るのではなく、スケジュール管理を徹底することで栽培技術の向上を目指しているそうです。

経営者としての将来像

高橋さんに今後の展望を伺うと、「将来的には父親から経営を引継ぎ、規模拡大と従業員の雇用を考えています。会社員時代、店長として経営を学んだ事も大いに役立つと思います。また、きゅうり以外の作物に着手することも視野に入れており、周囲の農家から常に情報収集をしています。とは言っても、まだまだ自分は発展途上。きゅうり栽培に関しても、納得のいくものになるまでは様々な知識を吸収し、努力していきたいです。厳しい時代ではありますが、農業には、やりがいと面白さ、そして楽しさがあります。だからこそ、農家・非農家関係なしに『やりたい』と思う人には挑戦して欲しいですね。」と話してくれました。

現状に満足することなく、前進し続ける高橋さん。今後の活躍が期待されます。



- 1 家族と共に仕事に邁進する高橋さん。12月には3人目のお子さんが産まれるそう。
- 2 丹精込めて育てた新鮮なきゅうり。「安全・安心・美味しい」を消費者に届けたい。
- 3 夕方の選別作業の様子。「今はきゅうり栽培に夢中です」と高橋さん。
- 4 ハウス内の様子。将来的には規模を拡大していきたいという。

がんばってまーす!

INTERVIEW

JAあがつま 農産部
東部営農経済センター 営農経済課

宮崎 龍太さん

Profile

みやざき りゅうた (20歳)

趣味.....ギター

好きなスポーツ.....バスケット

好きな食べ物.....グミ

●職場の皆さんから見た宮崎さん

「ご飯が大好きな男の子です(笑) 新人として、何事も前向きに取り組んでいます。職員一同、今後の活躍に期待しています!」

「頼れるJA職員を目指して 日々勉強中です」

——現在の仕事内容を教えてください。

営農経済渉外員として、太田地区を担当しています。といっても、担当になって1年目なので、営農指導に関してはまだまだ勉強中です。現在は、野菜の検品や営農資材等の配達業務を中心に、組合員の方々とコミュニケーションを取りながら情報の共有化を図っています。

——以前はどのような仕事をしていたのですか？

入組後、1年間はエーコープの店舗で野菜担当として働いていました。産直コーナーに出荷している組合員の方々と接する機会も多く、店舗での経験は現在の業務にも大いに役立っています。

——どうしてJAで働こうと思ったのですか？

実家は非農家ですが、学生時代に農業を学んでいたこともあり、少しでも知識を活かせる仕事に就きたいと思ったからです。

——実際に働いてみてどうですか？

地域に密着した仕事にはやりがいを感じていますし、職場の雰囲気も良いです。まだまだ覚えなければならないことばかりですが、周囲の皆さんに支えられながら日々の業務にあたっています。

——趣味はギターとのことですが。

はい、学生時代からエレキギターを弾いています。現在は友人と共にロックバンドを組み、ギターボーカルとして活動しています。

——そんな宮崎さん、休日にはどのように過ごしているのですか？

楽器屋を巡ったり、ギターの練習をしたりしています。

——最後に、今後の意気込みをお聞かせください。

最近は、野菜だけでな

く花卉の勉強も始めました。知識と経験を積むことで、一日でも早く先輩方のように組合員の方と対等に話ができるようになります。JA職員としてスタートしたばかりですが、地域農業をサポートする頼れる営農経済渉外員として活躍できるよう頑張ります!

若い力で前進し続ける宮崎さん。これからも、地域農業のため頑張ってください。お忙しい中ありがとうございました。

▼愛用のギター。近々ライブを行うそうですよ!



畜産ダイジェスト

酪農情勢

■生乳生産量

農林水産省は10月25日に9月の牛乳乳製品統計を公表した。9月生乳生産量は59万3,120tで前年同月比1.8%の減となった。北海道は31万762t（前年同月比2.3%減）で生産量の全国シェアは52.4%となった。

都府県の生産量は28万2,358tとなり、前年同月比で1.2%減少した。

■販売及び乳製品情勢

9月の用途別処理量は、牛乳等向けが35万3,511t（前年同月比2.1%減）、乳製品向けが23万4,854t（〃1.2%減）となった。

飲用牛乳等生産量は31万3,042kl（〃1.6%減）で前月から0.5ポイント減少し、内牛乳が27万2,507kl（〃0.7%減）、さらに乳飲料は12万5,103kl（〃0.2%増）で前月より0.3ポイント減少した。

生乳生産量と用途別処理量

（単位：t、%）

区分		1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月
生 乳	全 国	644,121	594,620	664,447	650,222	671,097	638,214
	群馬(委託実績)	18,743	17,425	19,910	19,599	19,959	18,641
生産量	本会(委託実績)	5,725	5,354	6,125	6,558	6,640	6,158
用途別	飲用牛乳等向け	320,541	301,201	320,571	324,209	346,307	346,396
	乳 製 品 向 け	318,662	288,565	339,160	321,246	320,073	287,092
	そ の 他 向 け	4,918	4,854	4,716	4,767	4,717	4,726
前 年 対 比	生乳生産量(全国)	99.7	96.8	99.7	100.1	100.0	99.4
	〃 (群馬)	99.2	95.5	99.5	100.1	99.8	99.5
	〃 (本会)	97.3	93.2	96.1	105.7	106.4	106.2
	飲用牛乳等向け	98.5	93.2	98.0	98.9	98.8	98.6
	乳 製 品 向 け	101.0	100.9	101.4	101.4	101.3	100.4
7 月		8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	計
632,103		607,577	593,120				5,695,521
18,295		17,574	17,052				167,196
5,996		5,665	5,601				53,821
349,569		328,957	353,511				2,991,262
277,756		273,978	234,854				2,661,386
4,778		4,642	4,755				42,873
98.1		96.5	98.2				98.7
99.4		98.4	98.9				98.9
106.1		104.4	107.7				102.6
100.4		99.0	97.9				98.1
95.4		93.6	98.8				99.4

肉牛情勢

肉牛枝肉相場(11月予想) 素牛不足が続くなか年末の最需要期に向け引き合いが強まる。和牛は値頃感のある3等級の需要が活発。4、5等級も堅調に動く見込み。

肉牛枝肉相場(予想)

和牛去勢A5 2,350円中心
和牛去勢A4 2,100円中心

和牛去勢A3 1,950円中心
和牛去勢A2 1,630円中心
交雑去勢B5 1,840円中心
交雑去勢B4 1,540円中心

交雑去勢B3 1,350円中心
交雑去勢B2 1,300円中心
乳牛去勢B2 800円中心

枝肉価格の推移(群馬県食肉卸売市場)

(単位：円/kg、税込み)

年・月		1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	平均・計
和牛 去勢 A4	24 年	1,551	1,467	1,537	1,604	1,641	1,665	1,629	1,590	1,649	1,682	1,776	1,867	1,638
	25 年	1,695	1,750	1,785	1,749	1,829	1,901	1,829	1,832	1,896	1,929			1,820
	前年格差	144	283	248	145	188	236	200	242	247	247			181
和牛 去勢 A3	24 年	1,314	1,230	1,334	1,393	1,482	1,476	1,445	1,349	1,419	1,495	1,592	1,707	1,436
	25 年	1,585	1,615	1,633	1,627	1,717	1,710	1,664	1,649	1,710	1,780			1,669
	前年格差	271	385	299	234	235	234	219	300	291	285			233
和牛 去勢 A2	24 年	1,018	1,066	1,153	1,233	1,340	1,315	1,249	1,187	1,238	1,376	1,385	1,466	1,252
	25 年	1,180	1,419	1,479	1,508	1,472	1,522	1,441	1,405	1,521	1,662			1,461
	前年格差	162	353	326	275	132	207	192	218	283	286			209

群馬県食肉卸売市場上場頭数

(単位：頭)

年・月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	平均・計
24 年	1,042	932	1,294	1,270	845	1,167	1,467	1,406	1,383	1,336	1,887	1,668	15,697
25 年	1,000	1,123	1,025	1,236	929	898	1,126	1,098	1,090	1,162			10,687
前年増減	▲ 42	191	▲ 269	▲ 34	84	▲ 269	▲ 341	▲ 308	▲ 293	▲ 174			▲ 5,010

■素牛動向

- ①全農・取引基準価格(乳去) 260~300kg 447円/kg(前月比109.6%)
②F1 価格(去勢) 250~300kg 1,050円/kg中心(雌) 250~300kg 965円/kg中心
③和牛子牛(去勢) 547千円中心(前月比101%) (雌) 471千円中心(前月比101%)

養豚情勢

枝肉相場関係

株群馬県食肉卸売市場（上物加重・円/kg）

（単位：円税込）

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間平均
23年(A)		400	473	463	477	460	537	509	473	431	351	384	436	450
24年(B)		390	393	388	397	420	479	443	468	425	365	358	418	412
25年(C)		363	390	404	450	499	485	498	507	499	466			456
(B-A)		▲10	▲80	▲75	▲80	▲40	▲58	▲66	▲5	▲6	14	▲26	▲18	▲38
(C-B)		▲27	▲3	16	53	79	6	55	39	74	101			44

豚肉価格形成要因

株群馬県食肉卸売市場と畜頭数（自家用と畜は除く）

（単位：頭）

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間頭数
と畜頭数	24年	43,106	42,665	43,703	41,308	41,048	37,617	38,294	38,608	37,444	46,194	47,808	46,869	504,664
	25年	45,435	40,085	41,826	42,393	40,315	34,599	40,317	37,843	39,480	47,010			409,303
前年比(%)		105.4	94.0	95.7	102.6	98.2	92.0	105.3	98.0	105.4	101.8			81.1

肉豚生産出荷予測（全国）

（単位：千頭、前年同月比%）

区分	月	4～6月	7月	8月	9月	7～9月	10月	11月	12月	10～12月	1月	2月	3月	1～3月
全国出荷予測頭数(千頭)		4,125	1,374	1,319	1,358	4,051	1,550	1,545	1,569	4,664	1,463	1,344	1,416	4,223
前年同月比(%)		101	104	99	106	103	101	101	104	102	101	101	102	101

■生産動向：農水省食肉鶏卵課の肉豚生産出荷予測によると、11月の出荷見込頭数は1,545千頭（前年同月比101%）となっている。その後は12月1,569千頭（〃104%）、1月1,463千頭（〃101%）と予想されている。輸入量が少ないため前年を上回る相場で推移する見通し。特に加工原料となる冷凍品の輸入が不足しており、国産需要が上向く。バラなどの部位は鍋物需要で引き合いが強く、大きく下げることなく高値のまま推移する見通し。

鶏卵情勢

鶏卵相場関係

■Mサイズ基準値

13年11月230円（見込み） 110%（前年比）

（単位：円）

価格の推移

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間平均
24年(A)		149	185	178	182	168	161	160	157	176	193	209	230	179
25年(B)		171	190	175	172	164	155	157	175	211	220			179
(B-A)		22	5	▲3	▲10	▲4	▲6	▲3	18	35	27			0
全国基金	24年	24.3	4.104	15.318	12.987	20.88	24.3	24.3	23.886	9.648	0	0	0	
補填	25年	18.999	0	9.774	15.714	21.645	24.3	24.3	9.306	0	0			

※平成24年度鶏卵価格差補填事業については、9月以降補填財源はありません。

■価格動向：10月の平均単価は220円（前年同月+27円）と前年同月を上回り、平成24年11月—平成25年10月期平均は186円（前年同期比+11円）であった。

■出荷動向：夏場の生産抑制体制から通常に回復し、鶏の食欲も旺盛で産卵率が上昇する。卵重も乗り生産は安定する見込み。

■需要動向：気温の低下に伴い引き合いが強まり、強含みの展開となる見通し。前半は秋の行楽需要がけん引し、後半から年末年始の菓子向けの加工需要等が強まる。

卵価要因

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
加工卵輸入実績(t)	24年	2,356	1,930	2,508	1,781	2,301	2,198	2,403	2,515	2,609	2,762	2,399	1,921	27,683
	25年	1,838	1,961	1,997	2,283	2,151	1,776	2,084	2,488					16,578
前年比(%)		78.0	101.6	79.7	128.2	93.5	80.8	86.7	99.0					59.9
餌付羽数(千羽)	24年	7,436	7,459	8,065	7,908	7,874	7,780	7,768	7,007	7,534	7,803	7,238	7,314	91,186
	25年	7,215	7,317	7,520	7,742	7,767	7,895	7,200	6,896	8,170				67,722
前年比(%)		97.0	98.1	93.2	97.9	98.6	101.5	92.7	98.4	108.4				74.3

■餌付見込

※農水省は餌付け羽数見込みを公表しないことになったため、今後、餌付け羽数実績のみ掲載することになります。

■価格の推移

(7) 21年:175円
(1) 15年:151円 (4) 18年:184円 (8) 22年:194円
(2) 16年:173円 (5) 19年:169円 (9) 23年:188円
(3) 17年:204円 (6) 20年:193円 (10) 24年:181円

■原料情勢

①とうもろこし（シカゴ定期）

10月11日に予定されていた米国農務省による今月度需給見通しの発表は、米国政府機関の一部閉鎖に伴い行われなかった。一方、民間各社の今月度予想数値は、単収は先月度発表を上回ったものの、生産量は減少となり、収穫放棄面積の増加が予想されている。

9月12日発表の米国農務省需給見通しでは、13/14年度産の供給量14,530百万ブッシェル、需要量は12,675百万ブッシェル、期末在庫は1,855百万ブッシェル（在庫率14.64%）であった。

シカゴ定期は、コーンベルト地域の天候が乾燥型となったことにより収穫の進捗が期待されたことや、また各地で高水準の単収が報告されていることから、期近・期先ともに軟調に推移している。現在は430セント/ブッシェル付近で推移し、今後も収穫が進むにつれて明らかになる新穀の単収、エタノール需要、さらには中国による買い付け等に注目が集まっている。

米国産とうもろこしのFOBプレミアムは、農家売りも少なく、輸出需要も高まっていることから底堅く堅調に推移している。

②大豆粕

10月11日に予定されていた米国農務省による今月度需

給見通しの発表は、米国政府機関の一部閉鎖に伴い行われなかった。米国政府機関の見通しがなかったため、代替情報源である現地CGB米国産地報告によると、良好な天候により大豆の収穫は順調に推移している。単収は平年並みである。

前回の9月11日発表の米国農務省需給見通しは、新穀13/14年度の大豆需給見通しの供給量は3,289百万ブッシェル、需要量については3,140百万ブッシェルとなり、この結果期末在庫は150百万ブッシェル、在庫率4.78%となった。

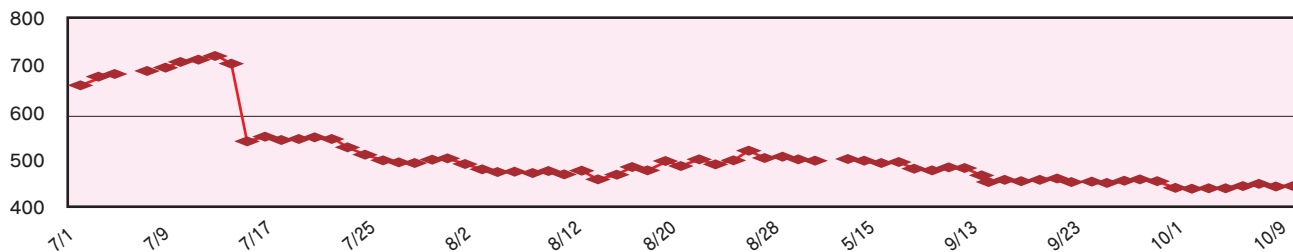
大豆粕のシカゴ定期は、降雨が好感されたこと、全米大豆の在庫数量が予想を上回ったことなどから軟調となり、10月初旬には420ドル前後であったが、現在は400ドル台で推移している。

■海上運賃

米国ガルフー日本間のパナマックス型海上運賃は、中国向け貨物需要の回復等から上昇し、現在は56ドル前後で推移している。例年、秋口から北米新穀の輸出が始まること、冬場の電力需要に備えて石炭の荷動きが活発になること等から海上運賃は上昇傾向にある。さらに今年は北米新穀の中国向け輸出が例年以上に増加しており、今後は年末に向けた中国の買付拡大や燃料費の値上がり等で更に上昇するリスクがある。

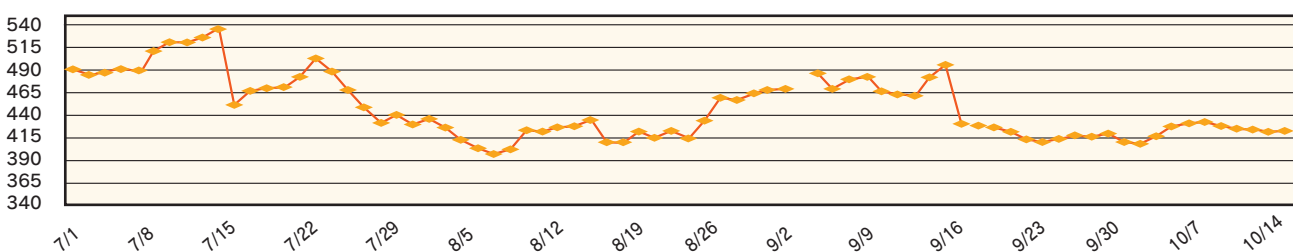
セント/ブッシェル

トウモロコシ 期近限月



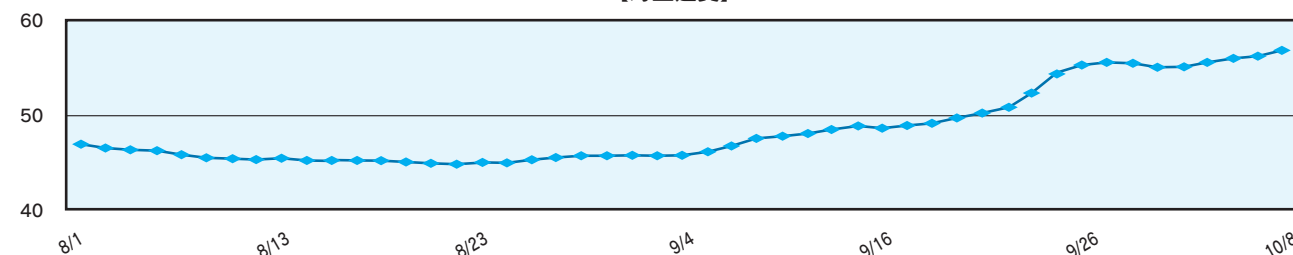
セント/ブッシェル

大豆粕 期近限月



ドル/トン

【海上運賃】



花木流通センター便り

花木流通センターの耳寄りな情報をお届けします！

花木流通センターのブランド野菜館では、県産米を中心とする玄米の販売も行っており、お好みのつき方で精米もいたします。そして、「毎月8のつく日をお米の特売日」とし、8・18・28日は、玄米1割引き・お米ポイントカード2倍となっております。美味しいお米を多数ご用意しておりますので、皆様のご利用をお待ちしております。



12月の売出し・イベント案内

開催日	内容
12月 6日(金) ～ 9日(月)	ウィンターフラワー ギフトセール
12月12日(木) 10:00～ 14:00～	花の寄せ植え講習会(各回20名まで) 【参加費・申込み方法等 お問い合わせ先：ふらわーらんど】
12月15日(日) 10:00～	花の寄せ植え講習会(20名まで) 【参加費・申込み方法等 お問い合わせ先：ふらわーらんど】

※売出し・イベントの日程・内容は変更になる場合があります。

花木流通センター

営業時間:年中無休/9:00～18:00

(節電のため7月～9月毎週火曜日定休)

取扱商品

- 園芸資材館/営農・園芸資材等
- ふらわーらんど/鉢花、花苗等
- JA植木コーナー/緑花木、盆栽等
- エクステージ/外構・造園工事等
- ブランド野菜館/産直野菜、農産加工品等
- 外売場/野菜苗、大型肥料・用土、植木鉢等



お問い合わせ先 TEL:027-220-2427 FAX:027-220-2424 前橋市亀里町1307-1

愛菜館

営業時間:毎週火曜日定休/9:00～18:00

取扱商品

- 産直野菜
- 農産加工品
- 店頭精米等



お問い合わせ先 TEL:027-210-7788 FAX:027-210-9811 前橋市古市町106-1

グッドぐんまの旬の市



- 電車/東武伊勢崎線「浅草駅」より徒歩3分
- 地下鉄/東京メトロ銀座線「浅草駅」より徒歩3分

お問い合わせ先 〒111-0032 東京都台東区浅草一丁目34番4号 TEL:03-3844-0830 FAX:03-3844-0837

営業時間:毎週木曜日定休/AM10:00～PM18:00
土日は群馬県農畜産物のPRイベント、平日は県特産品の販売をしています。

旬の市 12月のイベント案内

12月 7日(土)	地酒・県産ワイン・加工品フェア
12月 8日(日)	チキンフーズフェア
12月14日(土)	JA前橋市 冬野菜フェア
12月21日(土)	JA佐波伊勢崎 新鮮野菜フェア
12月28日(土)	JA甘楽富岡 冬の味覚フェア
12月30日(月) ・31日(火)	年末売り尽くしセール

※イベントの日程・内容は変更になる場合があります。

『県本部通信』における個人情報の取扱いについて

『県本部通信』に投稿いただいた方の個人情報は、プレゼントの発送やお返事、紙面での紹介に使用させていただきますのでご了承ください。また、これらの個人情報は前記の目的以外には使用せず、ご本人より事前に同意をいただいた場合以外には一切開示いたしません。

自由なご意見・ご感想をお寄せください。

《あて先》

〒379-2147 群馬県前橋市亀里町1310番
「県本部通信」係まで

E-mail: info-gunma@gm.zennoh.or.jp
※JAメール等でも結構です。

プレート
を
キャンバスに
見立てて

Art Cooking

Food adviser - 石垣 恵美

1979年から群馬県家の光講師。
FM局等でも活躍中。



柚子とたらこの炊き込みご飯

材 料

4人分

(1人前312kcal)

柚子…………… 1個
A 米…………… 2合
水…………… 同様弱
酒…………… 大さじ2弱
醤油…………… 小さじ1
塩…………… 小さじ $\frac{1}{2}$
たらこ…………… 半腹
白ごま…………… 大さじ1

作り方

- 1 米を研ぐ。
- 2 洗った柚子の皮を薄くむき、せん切りにする。
実は2～3等分に輪切りにする。
- 3 炊飯器にAの材料を入れる。
- 4 3の上に輪切りにした柚子とたらこをのせ、
普通に炊く。
- 5 ご飯を蒸らし、柚子の皮とたらこをほぐしな
がら混ぜ、白ごまをふり器に盛る。